

# 松本市図書館職員研修会（レファレンス研修） まとめ

日時： 平成 28 年 11 月 25 日（金） 10：00－12：00

会場： 松本市中央図書館 2 階図書室内

参加者数： 48 名（アンケート回収数 40 枚）

当館職員： 4 名

## 1. 講義資料等 別添のとおり

## 2. アンケート結果

### （1）参加人数

#### ■所属別

中央館職員 17 名（43%）

分館職員 22 名（55%）

無回答 1 名（2%）

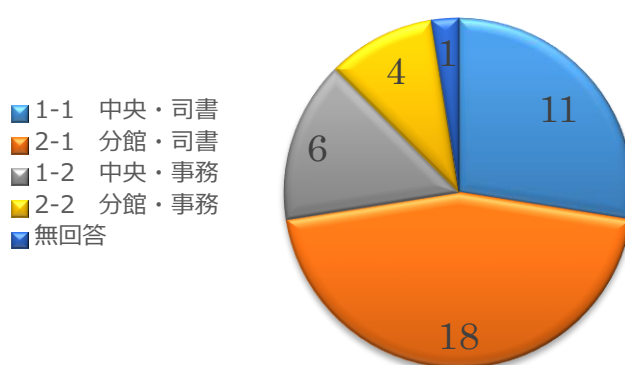
#### ■資格別

司書職員 29 名（73%）

事務職員 10 名（25%）

無回答 1 名（2%）

【所属・資格別 参加者数】（人）



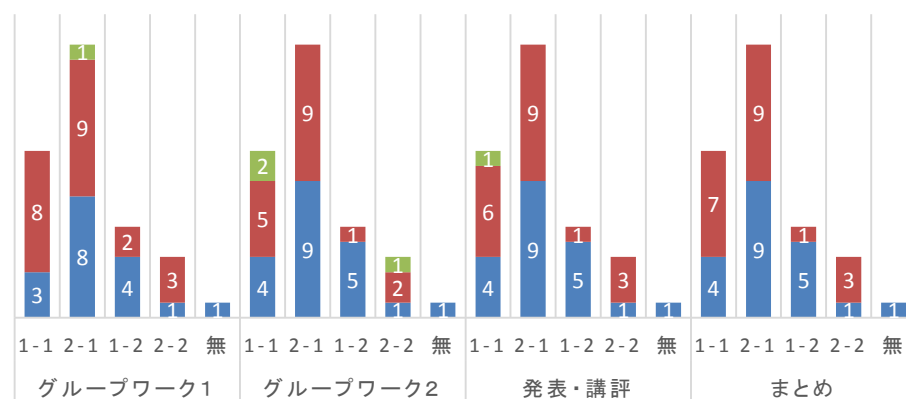
### （2）研修会の内容を理解できましたか？

すべてのプログラム・参加者層で、「よく理解できた」「理解した」の割合がほぼ 100%となった。

「少し難しい」と評価した理由も、自由記述を見ると、進行方法を理解できず戸惑ったせいによるものだと判断できる。事務職員からも高評価を受けたことから、初任者向きのプログラムだったとも言える。

研修会の内容を理解できましたか？

■よく理解できた ■理解した ■少し難しい ■難しい



	グループワーク1					グループワーク2					発表・講評					まとめ				
	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無
よく理解できた	3	8	4	1	1	4	9	5	1	1	4	9	5	1	1	4	9	5	1	1
理解した	8	9	2	3		5	9	1	2		6	9	1	3		7	9	1	3	
少し難しい		1				2			1		1									
難しい																				
					40					40					40					40

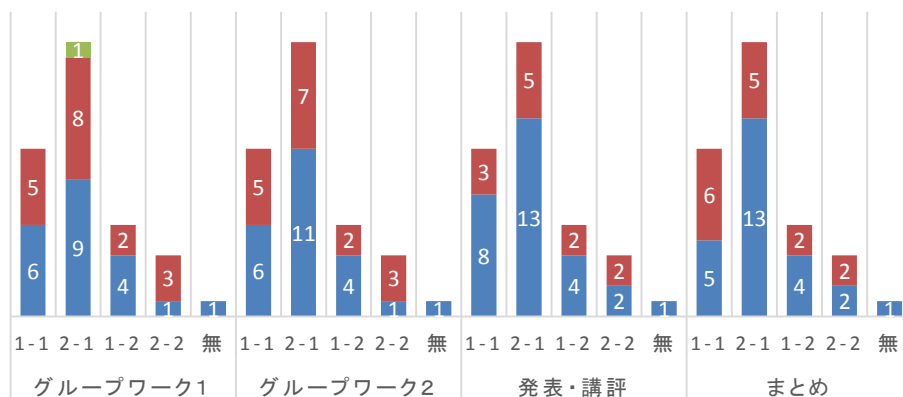
### (3) 研修会で得た知識や経験は役に立ちそうですか？

「今回の研修が今後に活かせるか」という視点でも各層から高評価を受けた。

特に「発表・講評」に関する評価が高く、相手の状況に応じた回答を考える過程を整理し発表することが今後に役立つと感じてもらえたようだ。他グループの発表を聞いたことと、講師からの講評も良かった様子。

研修会で得た知識や経験は役に立ちそうですか？

■ 大変役に立つ ■ 役に立つ ■ あまり役に立たない ■ 役に立たない



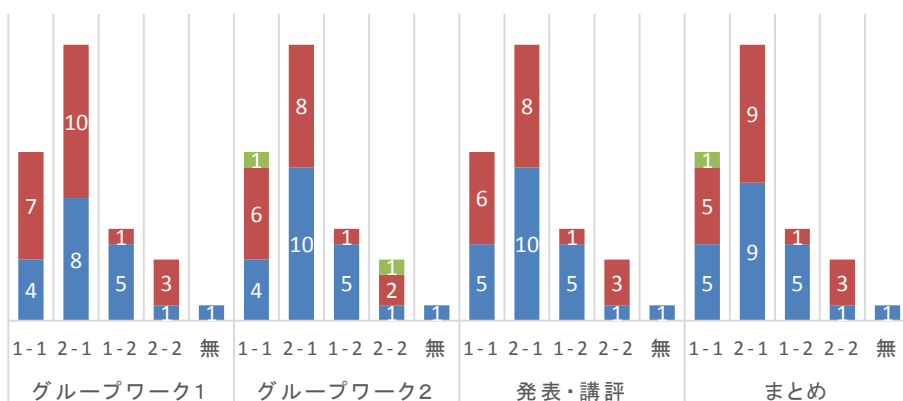
	グループワーク1					グループワーク2					発表・講評					まとめ				
	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無
大変役に立つ	6	9	4	1	1	6	11	4	1	1	8	13	4	2	1	5	13	4	2	1
役に立つ	5	8	2	3		5	7	2	3		3	5	2	2		6	5	2	2	
あまり役に立たない		1																		
役に立たない																				
	40					40					40					40				

### (4) 研修会全体についての評価

「やや不満足」の回答理由として「時間が足りなかった」というものがあった。今回は2時間という条件の中でプログラムを組み立てたため、全体的に非常にタイトなスケジュールとなってしまったが、むしろこのぐらいで完結させることに意味がある側面もあるのではないかとと思うので、一意見として受け止めたい。

研修会全体への評価

■ 大変満足 ■ 満足 ■ やや不満足 ■ 不満足



	グループワーク1					グループワーク2					発表・講評					まとめ				
	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無	1-1	2-1	1-2	2-2	無
大変満足	4	8	5	1	1	4	10	5	1	1	5	10	5	1	1	5	9	5	1	1
満足	7	10	1	3		6	8	1	2		6	8	1	3		5	9	1	3	
やや不満足						1			1							1				
不満足																				
	40					40					40					40				

## (5) 研修会全体で「印象に残ったこと」

### ■ 1-1 中央館・司書

- ・引き出しを多く持つことの大切さを研修を通して実感しました。ほんの小さなことでもいつか何かの役に立つかもしれない、そういう視点で物事を見ると見え方も変わってくるだろうし、気付くことも増えるのだと思いました。レファレンスについては参考資料を例に挙げてくださったのがとても分かり易く参考になりました。
- ・相手の状況を考え、相手の立場に立ってよりよい資料を提供しなければならないと実感しました。
- ・グループワーク 1 でグループ内で思いつくキーワードを各々挙げていった時には自分が思いつかなかったキーワードを聞くことができ良かったです。また利用者から質問をされてたくさんキーワードを思い浮かべることは大事ですが、レファレンスインタビューをしっかりと行わずにコレと決めつけて書架へ行くのは時間と労力のムダだなと思いました。
- ・グループワークすることで、自分では考えない視点でも探すことができ良かった。分担して資料を集めることで、短時間でたくさんの資料を集めることができた。
- ・グループごとの発表は少し緊張してしまいましたがとても勉強になりました。
- ・こういう質問がきたらこの分類を見ればいいという引き出しが増えました。つい答えを求めてしまいそうになりますが、「答えは探さなくても良い」という県立の方の言葉が印象的でした。
- ・レファレンスを普段やっている人・やっていない人では、最初の本を探す時点ですでに発想が違うなと実習をやっていて感じました。「やっている人」→すでにいくつかの本や棚がうかぶ「やっていない人」→何の本か、分類だと何かがうかぶ
- ・「答え」ではなく「調査過程」を、という部分を最初に強調して頂けたらよかったですと思います。(レファレンス研修なので当然なんですけどね…^^;) グループで行ったことで“多様な視点”を直に体験したと感じます(グループワーク 1 でのブレインストーミング、関連ワードをたくさん出すところ)。印象に残ったのはなんといっても「残り物で夕飯を」です！児童書や分館の資料揃えではどうしてもドンピシャなものが手に入らないことが多いので、なんとか使える資料にたどりつくことが大切、そしてそれが必ずできるのが司書なのだ、専門職の自覚をもち直しました。
- ・グループワーク 1・2 で、それぞれどこまで何をするのか、少し混乱があったように感じます。今何をする時間か、次何をするのかスクリーンに常にだしてもらえたらいいなと思いました。とても貴重な研修だったと思います。
- ・利用者の立場に立ったレファレンスが大切だと感じた。一つの質問にいろいろな視点からアプローチする過程が楽しかった。

### ■ 2-1 分館・司書

- ・短時間でこれだけ充実したレファ研修は初めてなのでとても良かった。県立の方の講評や紹介本の時間は切らなくてもよかったのでは。

- ・普段心がけているつもりだったことですが、改めて研修としてやってみるとあまりできていなかったことに気づきました。「日常はすべて研修になる」というまとめを心に置いて日々頑張っていきたいと思います。
- ・レファレンスに何が必要か、発表・講評を聞く中でつかむことができました。様々な年次の人が混合でワークする中で気付きも多く、他の班の発表を聞くことでさらに広がりを持ってました。これからの仕事にとっても役立つ研修でした。企画して頂いて、また県立との事前の打ち合わせなど準備ありがとうございます。
- ・「真実はひとつじゃない」という言葉に衝撃を受けました。これからのレファレンスに活かせるように努力します！ありがとうございました。
- ・楽しんで研修ができたということが印象に残りました。研修=難しい・大変というイメージだったのでとても良かったです。ありがとうございました。
- ・「子どもと親子」のペアということをもう少し考えていければよかったと思う。何かを知りたいという方に本を提供するだけでなく、様々なことを考えるべきなのだとことを学びました。
- ・利用者に合わせた答えへ導く手助けをする、というレファレンスの目的を改めて理解することができた。
- ・自分の“思考のひきだし”の少なさをつくづく感じた。連想するキーワードが増えるよう意識して取り組んでいきたい。問題にばかり意識していて対象者のことをあまり考えていなかったのも、対象者のことを考え、資料を提供できるようにしたい。
- ・普段のレファレンス研修とは少し違った形での研修で、少し戸惑うところもありましたがなんとか進められました。ワーク1で想定した質問とは違う角度からの質問がワーク2で出てきて、もっと様々な角度から物事を考え、思考をめぐらせないといけないなと実感しました。とても為になる研修でした。
- ・グループで協力して調べることができ、楽しく研修が受けられました。全体の講評もわかりやすかったです。
- ・一人でやるよりもグループでやることで、自分では気付かない発見があって良かった。
- ・私はまだ経験年数が浅いので、先輩たちと一緒にレファレンスをして様々な発見がありました。利用者様の立場に立ったレファレンスができるようになりたいです。

## ■ 1-2 本館・事務

- ・非常に充実した研修でした。それぞれが意見を出しあい、知識を総動員して取り組む課題は設定も身近でとても楽しかったです。
- ・1. 視点が大事 2. キーワードは思いのほか多くあるとともに資料も多くあると感心しました。  
3. 想像力の大切さ
- ・非常に有意義な研修でした。半日くらい丸々使ってじっくりとやってみたかったです。講師の説明もとてもわかりやすかったです。

- ・短時間でも内容の濃い研修でした。このようなタイプの研修は初めてです。
- ・J班で最初の発表でしたが、発表では「本を紹介する」ということを初めにわかっていたらよかったと思います。いつもPCの資料検索に頼ってしまいがちなので、書架で利用者と一緒に探しながら紹介できるといいなと思いました。普段からどこにどんな資料があるか心がけたいと思います。
- ・レファレンスのテーマと相手方の設定がリアルで良かった（面白かった。）発表・講評時間のベルは、発表者に要点をまとめて話す訓練にもなり良いと思った。

## ■ 2-2 分館・事務

- ・実践での研修で大変わかりやすかった。実際は1日の研修とのことですが、2時間でやっていただき1日抜けられないのでありがたかったです。又、大きな意味でのレファレンスについて学ぶことができました。
- ・研修の目的とまとめが、今後役立つと感じました。
- ・グループワーク2について、各グループが課題についてどのように対応して発表するのか、理解できないままスタートしてしまったと思います。もう少しグループワークの趣旨や目的を説明して頂いた方がより充実した研修になったと思います。戸惑っているグループが多く見られました。
- ・集中して取り組むことができ、新たな発見もありよい研修だったと思います。

## 3. 改善点（当館職員が感じた点）

### （1）グループワークのアイデア出し方法

付箋に書いてもらい（1枚1項目）大きな紙（これも巨大な付箋紙だった）に貼り付けて整理してもらうという方針だったが、大きな紙に直接書き始めたグループや、付箋1枚に複数項目書いている人いたりすると統一が取れず、場に若干の混乱が生じてしまった。スケジュール的にも出されたアイデアを整理するところまで行ききれなかったこともあり、大きな紙に直接書き込んでもらうやり方でよいと感じた。また大きな紙も巨大付箋である意味はなかったため、このぐらいのワークなら普通の模造紙で充分。

### （2）スライドの作り方

ワークの最中に「今の時間の課題」と、「それをもとに次にナニをやるか」を見せ続けておけるように。

### （3）発表内容の周知

“最後に発表があること”、“発表するのは「課題の状況に応じて必要な視点」であること”は最初の説明で話したが、理解していただく時間が充分ではなかったため発表内容にバラつきが生じてしまった（課題の答えそのものを発表し始めたグループがあった）。もう少し丁寧な説明と、（2）でも触れたがスライドを工夫することで、趣旨を理解してもらえようようにしたい。

以上